

サンクゼールの森プロジェクト

2022年度

年次報告書

2023 年 3 月

信州大学教育学部
森林生態学研究室

< 目 次 >

1. これまでの取り組みの概要	3
2. 2022 年度の活動記録	5
3. 2022 年度のサンクゼールの森現地調査	16
(1) サクラソウ他希少植物調査	16
(2) 春植物調査	19
(3) 哺乳類調査	21
4. サンクゼールの森アンケート結果	22
5. 改訂植生図	27
6. 写真インデックス	28

1. これまでの取り組みと 2022 年度の概要

2013 年にサンクゼールより信州大学教育学部森林生態研究室井田のもとサンクゼールの森のお話があり、2014 年に井田研究室の学生、松田ら専門調査協力スタッフが参加して植物などの調査を行いました。その後 2016 年よりサクラソウなどの希少植物や動物などの調査を継続して行っています。

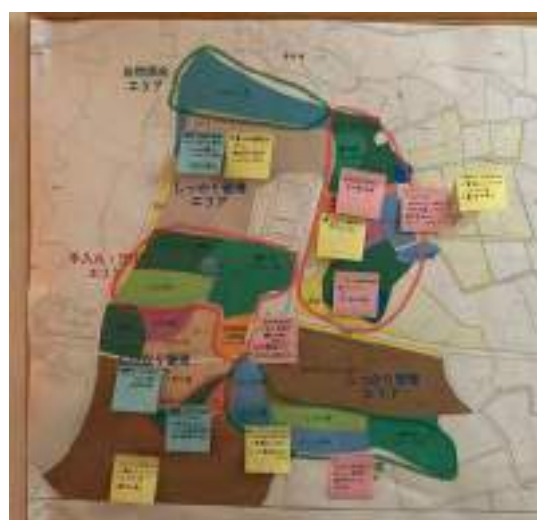
(株) サンクゼールの環境保護の取り組みとして、森林保全、生物多様性をうちだし、2022 年度から久世良三会長、久世良太社長を含めたプロジェクトミーティングが立ち上がりました。

また、2022 年は社員を対象にサンクゼールの森に対する意識のアンケートを行いました。

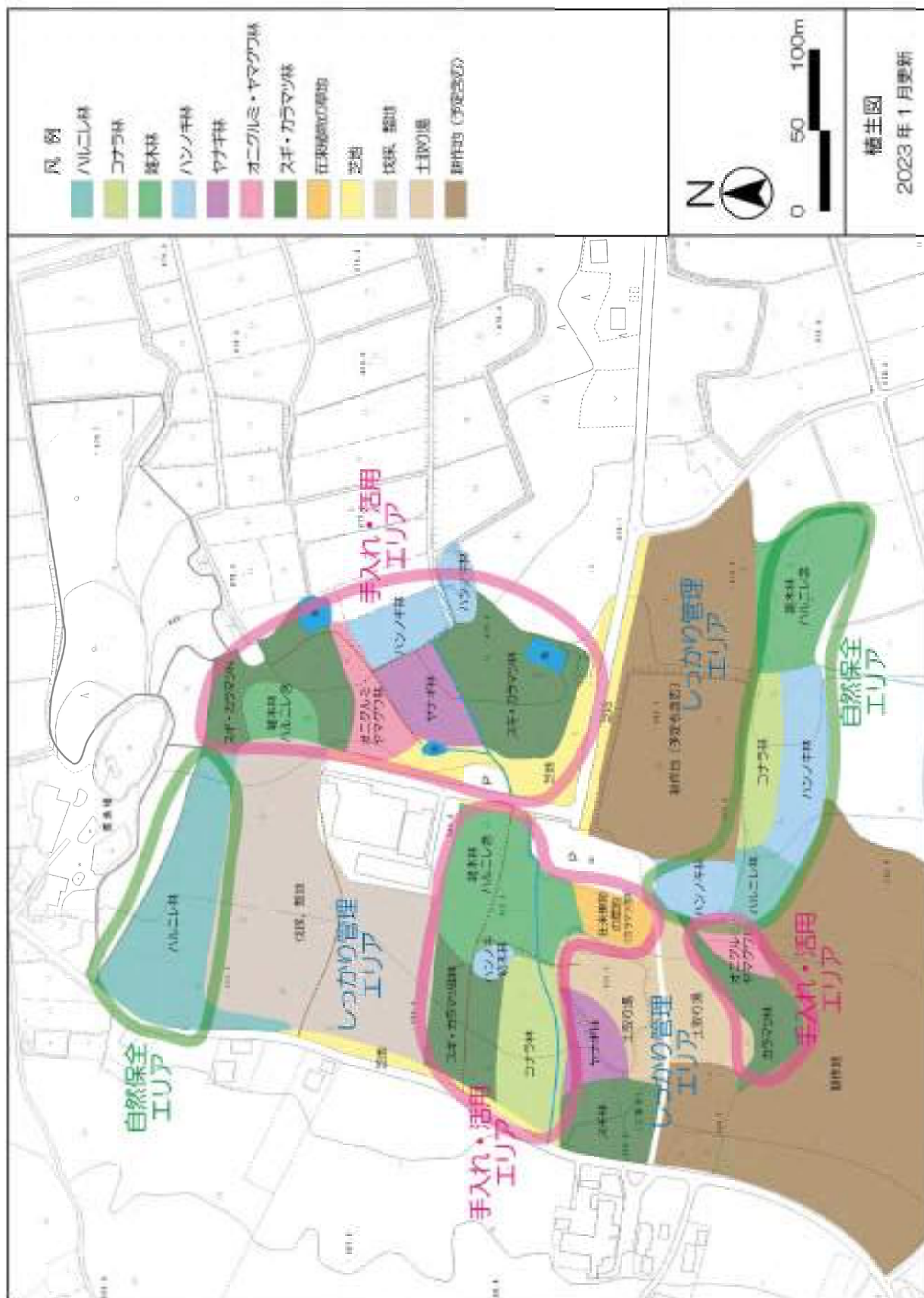
以下にこれまでの取り組みの概要の表と、サンクゼールの森のエリア図を示します。エリア図の基となる植生図の改訂を行っています

これまでの取り組みの概要

年	打ち合わせ他	整備(信大)	観察会他				調査							
			観察会	講演会	森だより	アンケート	植生	植物相	毎木調査	春植物	サクラソウ	鳥類	哺乳類	昆虫
2013	顔合わせ						植生図	○						
2014				○			植生図	○	○			○		
2015	今後の打ち合わせ													
2016	大平林業さんを含めて打ち合わせ	北園路マーキング	○				コード			○	○			
2017		マーキング	○	○	○		コード			○	○	○レコーダー	○	
2018		マーキング・除伐	○研修	○	○					○	○	○	○	○
2019	会長他林内踏査	樹木名前付け	○		○					○	○	○	○	○・トラップ
2020	(コロナ禍)				○						○		○	○
2021	会長・社長他現地踏査	社員・信大で整備	○							○	○		○	○
2022	プロジェクトミーティング	社員・信大で整備	○	○	○	○	図改訂			○	○		○	



プロジェクトミーティング 森をまわる



2. 2022 年度の活動記録

2022 年度の年間スケジュール

2022 年度はじめに、下記の年間スケジュールの計画を立てました。

2022 年度年間スケジュール

時期	内容
4 月下旬	春植物調査・センサーカメラ設置 サンクゼールの森プロジェクト フィールドとミーティング
5 月中～下旬	観察会・サクラソウ調査
6 月	サンクゼールの森プロジェクト フィールドとミーティング
7 月	社員有志メンバーとの整備 センサーカメラ確認
9 月？	社員有志メンバーとの整備 サンクゼールの森プロジェクト フィールドとミーティング
12 月	サンクゼールの森プロジェクトミーティングほか
2～3 月	社員向け自然学習 年度末の報告と次年度に向けた意見交換

- 【補足】 ・センサーカメラ確認は調査のタイミングで毎回実施する。
・林内踏査や植生状況確認等は随時実施する。

2022 年度の活動実績

2022 年度の活動の実績は下記の通りになります。

2022 年 4 月 27 日	2022 年度活動の打ち合わせ 春植物調査・センサーカメラ
5 月 28 日	観察会・サクラソウ調査・センサーカメラ
6 月 17 日	社員有志と整備
7 月 1 日	第 1 回プロジェクトミーティング センサーカメラ サンクゼールの森アンケート
10 月 7 日	第 2 回プロジェクトミーティング センサーカメラ
10 月 14 日	社員有志と整備
11 月 17 日	第 3 回プロジェクトミーティング センサーカメラ
2023 年 1 月 17 日	第 4 回プロジェクトミーティング センサーカメラ
3 月 7 日	第 5 回プロジェクトミーティング

プロジェクトミーティングはサンクゼール主導で開催のため、森の現地調査を中心に以下に記録簿を示します。

サンクゼールの森プロジェクト 記録簿

サンクゼールの森プロジェクト 記録簿

日 時：2022 年 4 月 27 日 9：00～15：30

活動内容：春植物調査、センサーカメラ設置、今後、今年度の活動について打ち合わせ

場 所：サンクゼールの森・サンクゼール本社

調査者：【信大】井田、井浦、松田

サンクゼール（打ち合わせ）：久世良三会長、久世良太社長、野村経営企画室室長、河原取締役、丸石さん

記録者：井浦

活動詳細等

1. 春植物調査

- ・別紙報告の通り
- ・アズマイチゲ、キクザキイチゲは花の終わりで実になっているものもあり、開花確認数は実際より少ない可能性がある。
- ・No.1 は昨年刈り払い機で草刈をしたが、大きな開花数の変化無し。
- ・No.2 は光環境の変化も無く、開花数も変わらない。
- ・調査区の杭のリニューアルが必要。

2. センサーカメラの設置

- ・昨年とほぼ同じ場所に設置したが、丸山さんがお休みのため調整が上手くいっていないかもしれない。
- ・東屋の西（春植物 No.1）に設置していたダレカを回収。撮影出来ていなかった。

3. 踏査

- ・社屋裏にエゾノギシギシが繁茂。景観的にも悪くなる恐れがある。
- ・いろいろな目印のテープが分からなくなっている。
- ・駐車場西側のカラマツが伐採されている。
- ・ノスリはスギ林の巣で営巣している可能性あり。威嚇あり。
- ・水路に落ち葉などがつまり、流れが悪くなっているところあり。

4. 今後、今年度の活動の打ち合わせ

- ・信大側の提案、スケジュール、見積もりを承認して頂いた。コミュニケーションをとりながら森づくりを支援していく。

サンクゼールの森プロジェクト 記録簿

日 時：2022 年 5 月 28 日 7：30～15：30

活動内容：観察会、サクラソウ調査

場 所：サンクゼールの森

調査者：【信大】井田、井浦、松田、桜井、学生 14 人

サンクゼール：久世良三会長、河原取締役、丸石さん、他参加者 20 名

記録者：井浦

活動詳細等

1. 観察会

内容：オリエンテーリング方式でグループに分かれてポイントを回ってもらう。

7:30 松田・桜井・井浦サンクゼール集合・現地を確認して地図を作る。クイズ設置

8:40 信大班到着・現地を見て打ち合わせ・危険なもの確認

9:40 参加者が集まり始める・受付

10:00 はじめの会

井田先生から森のお話

自己紹介 松田・桜井・井浦と研究室代表

簡単に今日の予定

10:10 ネイチャーゲーム 信大生担当

アイスブレイク的に楽しめるもの

10:30 オリエンテーリングの班分けと、やり方を説明してスタート

グループ内で自己紹介している間に準備

しっかりお話・観察のポイント：信大生 3 ポイント、松田・井浦の 5 ポイント

井田先生はフリー

1 ポイントの時間は移動も含めて 10 分

簡単なクイズ 4 箇所

ポイントに付かない学生さんと桜井は参加者のグループに入る

12:00 クイズの解答・解説

12:10 おわりの会

久世会長から

最後の締めも井田先生に

オリエンテーリングのポイント

ポイント 5 地点 時間は移動を含めて 10 分くらいで

○鳥や動物のこと。東屋あたり。松田

○森のこと→駐車場横のハンノキ林で遷移の話 井浦

○信大生 3 ポイント

【色・形探し】色紙や色々な形の紙を用意し、それに近い自然物（葉、草、花、枝など）を探す。用意した紙に近いほどポイント高、探した数多くても◎

【私は誰でしょう】1 グループに 1 つ袋を配る。その袋の中に周りにある植物（花・葉・実など）を 1 つ入れ、その袋を他グループと交換する。自分たちが受け取った袋の中にはどんな植物が入っているのかを相手に質問をしながら当てる。

【なんの匂いでしょう】説明：好きな匂いがする植物（花や葉など匂いがあれば ok）を一種類とってきてもらい、なぜ好きなのか説明してもらう。そして皆で回して共有する

○ちょーかんたんクイズ 気分転換くらい。ポイントの間に設置。後で集まったときに解説

・サンクゼールの森にはキツネが多くいます。では、キツネは何の仲間でしょう？

1、ネコ 2、イヌ 3、クマ

・目玉焼きみたいな花を取ってこよう！

・ピンク色のきれいな花のなまえは何でしょう？

1、サクラソウ 2、モモイロソウ 3、クゼールソウ

「サンクゼールの森」 ネイチャーウォッチングのご案内

「サンクゼールの森」は、きれいな花や動物の宝庫です。
職場のすぐそばの大自然を、森のハカセとのぞいてみませんか？
わくわく発見しながら、5月の森をエンジョイしましょう！

＜日 時＞

2022年 5月28日(土)

10:00～12:00

＜プログラム＞

***地図を片手にサンクゼールの森を歩きます。ゲーム感覚で楽しみながら森の見どころをご案内します。**

*****子どもたち集まれ!!*****

経験豊富な信州大学教育学部の学生たちが全力で遊んでくれます。

＜ご注意＞

※外歩きできる格好でお越しください。お持ちの方は長靴が安心です。

※天気良ければ、暑くなる場合もあります。飲みものを各自お持ちください。

※少しの雨なら行きます。雨具・傘をお持ちください。荒れた天気では中止します。

※マスクの着用をお願いします。また、体調のすぐれない方は、参加ご遠慮ください。新型コロナウイルスの感染状況によって、中止や内容を変更する場合があります、ご了承ください。

みなさんのご参加をお待ちしております。

信州大学教育学部 井田研究室
森のハカセとその仲間たち



- ・ふわふわのものを取ってこよう！

ふりかえりなどから抜粋

- ・今回は信大生に内容も考えて、担当してもらったところがあったが、それぞれしっかり考えて担当してもらえて良かった。
- ・久世会長からも、大変良かったと感想をいただいた。
- ・小さい子にはコースが長すぎたかもしれない。別メニューも今後考えたい。
- ・時間配分が難しく、全部をまわれないグループもあった。

サクラソウ調査の結果は別紙

サンクゼールの森プロジェクト 記録簿

日時：2022年6月17日 8:30～10:00

活動内容：社員駐車場の側溝まわりの草刈りとU字溝の泥上げ

場所：サンクゼールの森

参加者：【サンクゼール】十数名 【信大】井田、山下（信大教育 B4）

記録者：井田

今後の予定：未定

活動詳細

草刈機2台、あとは鎌で草刈り、主にU字溝の泥上げ（側溝は以前より敷設されていたものであり、これまでで初めての実施のため、ほとんど土が一杯に詰まっていた。ゲリラ豪雨のような激しい雨の際、大きな水たまりとなり駐車場の出入りが大変。）



作業中（水路沿いにはヤマグワが実を着けていました）



作業完了（泥上げ）

サンクゼールの森プロジェクト 記録簿

日 時：2022 年 7 月 1 日 13:00～16:20

活動内容：センサーカメラ電池交換、プロジェクト MTG ①

場 所：サンクゼールの森

調査者：【信大】井田、井浦、松田

サンクゼール：久世良三会長、河原取締役、丸石さん、報道担当山川さん、オンライン丸山さん

記録者：松田

活動詳細等

①北設置カメラ（65 日間のデータ）

- ・キツネ（出現率 17%）、タヌキ（同 14%）、ハクビシン（同 5%）の 3 種を確認

②南設置カメラ（33 日間のデータ：5 月 29 日頃電池切れ）

- ・キツネ（出現率 55%）、タヌキ（同 21%）、ハクビシン（同 12%）の 3 種を確認
- ・5 月 18 日 18 時頃にクマの一部かもしれないと思われる画像あり（データ不明種扱い）センサーカメラ電池交換とデータ確認

2. サンクゼールの森プロジェクトミーティング①

①サンクゼールより社内での検討の内容について（30 分）

- ・企業内保育園について、園舎を新築する前に、社屋内ではじめて（無認可で可能）、3 年くらいかけて整備してはどうかと考える。まずは社員のニーズを調査したい。
- ・キャンプ場（社員のための）に関しては、有志で試してみたいという声が上がっている。

②森をひと回り（50 分）

- ・地図（別紙）を片手に、サンクゼールの森を、意見交換しながらひと回りする。
- ・信大からは保全エリアとゾーニングが必要なエリアを提案

③室内で整理・意見交換（30 分）

- ・社内での構想や森歩きを模造紙に示していく

④今後について（30 分）

＜確認事項＞

- ・社内会議を月 1 回でおこない、2 ヶ月に 1 回は信大との会議とする
- ・30 年後を展望する森のマスタープランをつくっていく
同時並行で、数年スパンの施設計画や単年の整備、課題の解決などを進めていく
- ・外注も含めて、整備の際には内部で確認を行うこと
- ・社員の憩いの場をつくるため、モリアオガエルの池周りから関係者で園路と森の整備をやってみる
- ・次回は、サンクゼールの森の存在目的や価値について検討していく。社内にとっても重要な内容となるため、サンクゼール主導で進める。

サンクゼールの森プロジェクト 記録簿

日 時：2022 年 10 月 14 日 13:30～16:00

活動内容：社員有志と整備

場 所：サンクゼールの森

調査者：【信大】井田、井浦、学生 1

サンクゼール：河原取締役、金井さん、静谷さん、内山さん、他 5 名（途中出入りあり）

記録者：井浦

活動詳細等

1. 社員有志の整備

- ・サクラソウ近くの池の周りの整備。池の周りに倒れた木を輪切りにしたイスを置く。
- ・北園路の草刈。車道まで出ず柵の所まで。
- ・ほどよい作業量で、みんなで池を囲んでイスに座って達成感があった。

2. プロジェクト MTG 関係の打ち合わせ

河原さん、金井さん、井田先生、井浦

- ・FM（Forest Management：森林管理）認証ができないか検討、情報収集している。企業の小面積の森でもできる。
- ・東屋裏の枝置き場 もう少し奥に移動してもらおう。ハンノキの幼樹の遊歩道挟んで反対側くらい。
- ・静谷さんがドローンを飛ばせて、敷地の映像を撮る（14 日夕方）
植生図の修正も検討しているので、画像を送ってもらうようお願いした。
- ・クマはブドウ畑のブドウを 2 日連続で食べに来て、電柵を張ったので、3 日目は駐車場の方にも来た。それ以降の目撃はない。センサーカメラの記録とも合っていた。目撃情報は役場の方へも連絡している。

サンクゼールの森プロジェクト 記録簿

日時：2022 年 11 月 17 日 11:00 ～ 15:00

活動内容：プロジェクトミーティング、センサーカメラ電池交換と解析、全体踏査

場所：サンクゼール本社、サンクゼールの森

参加者：【St】久世良三会長、河原氏、金井氏、静谷氏

【信大】井田、松田

記録者：松田、丸山

今後の予定：来月 1 月に次回ミーティング

活動詳細

プロジェクト・ミーティング（金井さんのほうでも議事録あり）

森の整備についての現場確認内容

現場サイドの課題

静谷氏は現在週 1 日の頻度で整備を行なっている。倒木の片付け、雑草の伐採と片付けなど。水路の掃除もやりたいが手が回っていない。（静谷氏）

大きな枝はある程度まとめておいたほうがよい。細いのはそのままでも。（井田）

下層が外来種の植生を、枝を置く場所として使っていただきたい。（松田）

枝は焚き火やバーベキューに使えるとよい。（久世会長）その際は焚き火でも消防署の届出は必要。（河原氏）

会社裏のエリアは結局石が多くて乗用草刈機は入れなかった。手刈りだとかなり時間がかかってしまう。またクマのフンが多く見つかった。（静谷氏）→来年雪がとけたら重機を使う作業など協力したい（久世会長）社員もみなで協力して石をとって、乗用が入れるようにしましょう。

伐採予定のコナラの奥がヨシ原になっているのでクマの利用が懸念される。確認をお願いしたい。（松田）

サンクゼールの森だよりを渡す

FM 認証について

信大農学部取得について情報提供（井田）

他社の森づくり、FM 認証の取り組みについて事例（金井氏）

7年にわたり、信大の協力を得て手作りでやってきたことに価値がある。これらを発信してはどうか（久世会長）

note など発信方法についてアイデア提案（金井氏）

自然に学ぶというテーマで「たねや・ラコリーナ」の取り組みの紹介（井田）

センサーカメラのデータ回収（10/7～11/16の41日間のデータ）

① 北設置カメラ

・キツネ（記録日数13日）、タヌキ（同12日）の2種を確認

② 南設置カメラ

・キツネ（記録日数2日）、タヌキ（同3日）、イタチ（同1日）の3種を確認

③ 北設置カメラについては、10月7日から21日の間で人以外のデータ記録が全くなく、その原因は不明。

サンクゼールの森プロジェクト 記録簿

日時：2023年1月17日 13:00～15:00

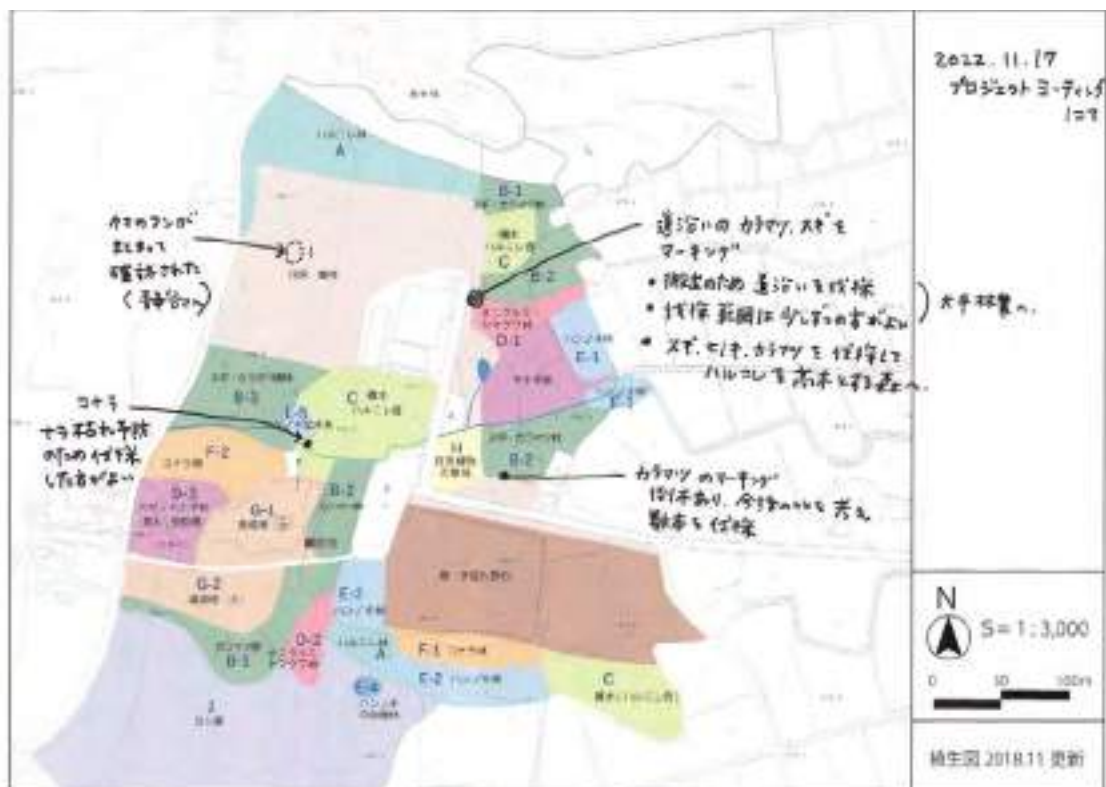
活動内容：プロジェクトミーティング、センサーカメラ回収

場所：サンクゼール本社

参加者：【St】久世良三会長、久世良太社長、河原氏、内山氏、金井氏、静谷氏、山川氏

【信大】井田、松田

金井氏による議事録あり。



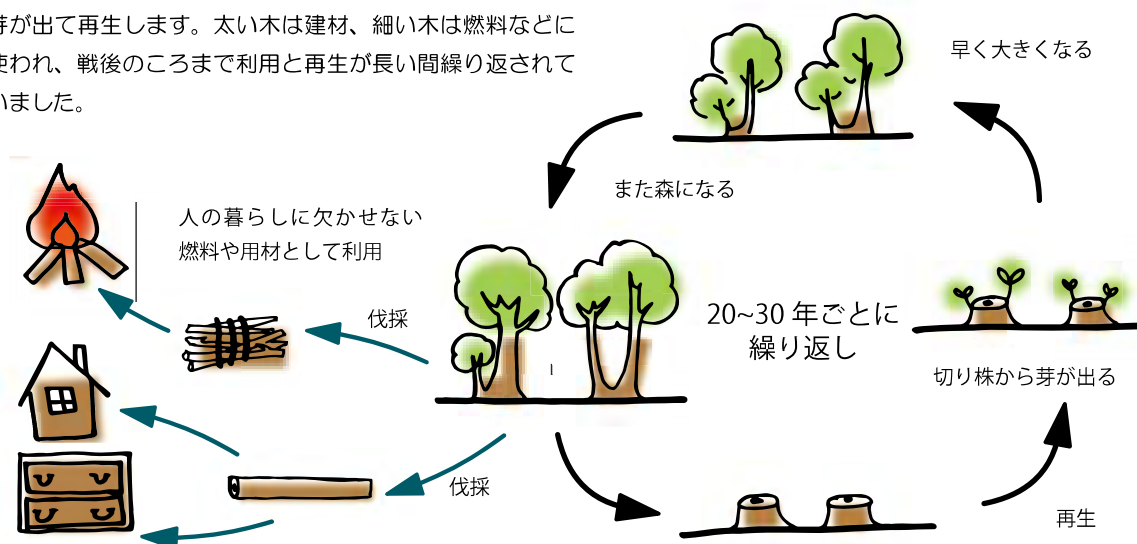
2022 サンクゼールの森だより Autumn

利用と再生が繰り返されていた サンクゼールの森

人の住む里にあるサンクゼールの森は、かつて暮らしに必要な燃料（エネルギー）となる薪や木炭、家や家具の材料となる材木を得るために利用していた里山でした。

◎樹木は伐っても再生する ー繰り返し利用されていた里山ー

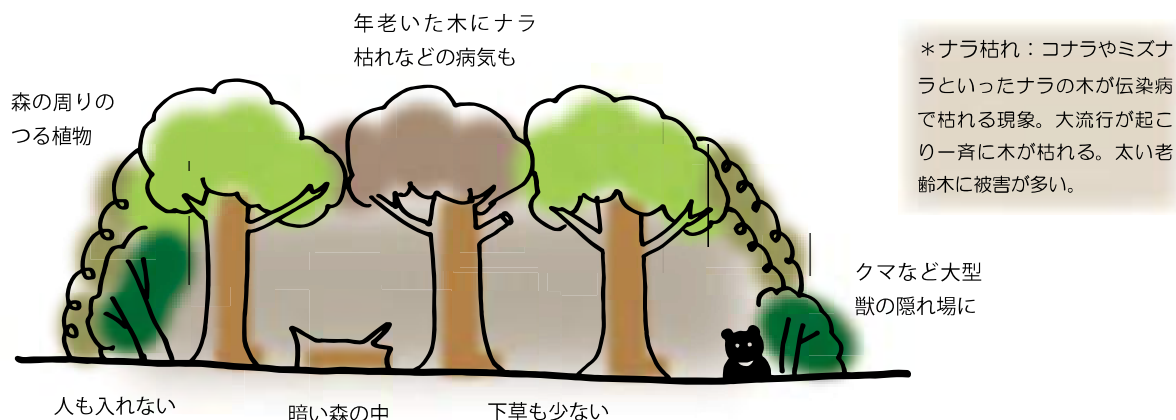
どんぐりの木であるコナラなどは、伐採しても切り株から芽が出て再生します。太い木は建材、細い木は燃料などに使われ、戦後のころまで利用と再生が長い間繰り返されていました。



◎利用されなくなった森は・・・（今のサンクゼールの森）

人の暮らしが変わり、木々が利用されなくなると・・・森の周りにはつる植物が繁茂し、人を寄せ付けぬ暗い森へと変わります。見通しもきかず、クマやイノシシの隠れ場になります。

また、成長しすぎた大きな木が増えると、信濃町でも現在多く発生している「ナラ枯れ*」を引き起こしたりします。



◎人が関わり続けることで健やかな里山の森を

木を利用するために適度に伐採し若い木を再生させてきた里山は、人が関わることでその活力が保たれてきました。森の中は明るく下草も豊かです。草地に近い環境からある程度暗い森まで、多様な環境があることで、それぞれの環境に適した生き物が生息し、多様性に富む森になります。

また、見通しも良いので、クマやイノシシを遠ざけることができます。

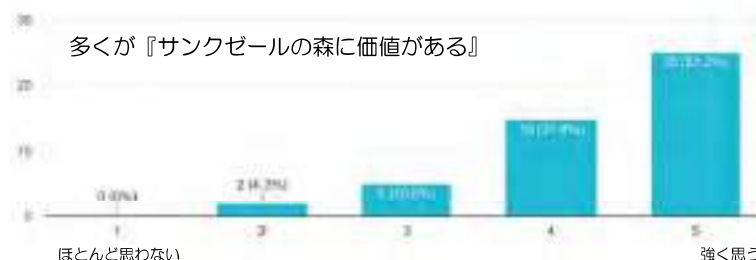
人にとっても心地の良い空間になります。



■信濃町サンクゼールの森アンケート 2022 を行いました。

信濃町と飯綱町オフィスの社員のみなさまを対象に、サンクゼールの森について現在のご意見や関わりを把握する目的で、今年の8月にオンラインのアンケートを実施し、47件の回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。結果から一部抜粋してご紹介します。

◆サンクゼールの森は[会社にとって]どのくらい価値があると思いますか？現時点のお気持ちを、下記の5段階で示してください。 47件の回答



◆現在、サンクゼールの森に対して、「不安なこと」「嫌なこと」「困る」と感じていること」はどんなことですか？（複数回答可） 44件の回答



◆そのほか、サンクゼールの森について意見や要望、疑問など、自由回答 12件の回答

- ・自然環境豊かな場所で働けることはとても心が安らぎます。
- ・今後の活動次第で、会社にとって大きな価値をあたえる存在になると思う。



Produced by サンクゼールの森プロジェクトチーム

2022年11月

構成：信州大学教育学部井田研究室 pida@shinshu-u.ac.jp 編集：井浦和子

サンクゼールの森プロジェクト 記録簿

日時：2023年3月7日 13:00～15:00

活動内容：プロジェクトミーティング

場所：サンクゼール本社

参加者：【St】

【信大】井田、松田、井浦

信大より 2022 年度年次報告書提出

3. 2022 年の現地調査

(1) サクラソウ他希少植物調査

絶滅危惧種であるサクラソウの開花株数を毎年同じ調査区で調査しています。
サクラソウの開花株数は、下草刈り等をした翌年に多い傾向があるようです。

サクラソウ分布調査

調査No.1	スギ植林																																
調査日	2022/5/28																																
調査者	井浦、桜井、松田																																
調査方法 - 調査区(2m×2m) 2016年は植生調査を実施。 - 分布概略図作成 <調査区の位置> ↑ N 大きさ: 2 m× 2 m																																	
調査結果・考察 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>16.5.21</th> <th>17.5.21</th> <th>18.5.19</th> <th>19.5.18</th> <th>20.5.18</th> <th>21.5.15</th> <th>22.5.28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サクラソウ開花株数</td> <td>6</td> <td>13</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>17</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>サクラソウの割合 (%)</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>ニリンソウの割合 (%)</td> <td>20</td> <td>35</td> <td>40</td> <td>35</td> <td>40</td> <td>30</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> - 高木層50%、樹林の手入れは特に行っていない。 21年は大幅に開花数が増加したが、22年に再び減少。			16.5.21	17.5.21	18.5.19	19.5.18	20.5.18	21.5.15	22.5.28	サクラソウ開花株数	6	13	6	7	2	17	9	サクラソウの割合 (%)	10	15	10	10	10	15	10	ニリンソウの割合 (%)	20	35	40	35	40	30	35
	16.5.21	17.5.21	18.5.19	19.5.18	20.5.18	21.5.15	22.5.28																										
サクラソウ開花株数	6	13	6	7	2	17	9																										
サクラソウの割合 (%)	10	15	10	10	10	15	10																										
ニリンソウの割合 (%)	20	35	40	35	40	30	35																										



サクラソウ No.1

サクラソウ分布調査

調査No.2 オニグルミ							
調査日 2022/5/28							
調査者 井浦、桜井、松田							
調査方法 - 調査区 (2m×2m) 2016年は、サクラソウ開花株数をカウント、植生調査を実施。 - 分布概略図作成 ＜調査区の位置＞ ↑ N 大きさ：2 m×2 m ※21年はサクラソウが枠外（東）に広がっており、7花茎確認されたが、22年は葉のみであった。							
調査結果・考察							
	16.5.21	17.5.21	18.5.19	19.5.18	20.5.18	21.5.15	22.5.28
サクラソウ開花株数	3	2	3	1	4	7	5
サクラソウの割合 (%)	<1	<1	<1	<1	10	8	5
19年は周辺が低木に覆われ、開花数が減ったと考えられたため、周辺（特に林縁部方向）のコマユミを除。21年も周辺も含めて比較的しっかり草刈りした。 - しかし22年は開花数が減少した。							



サクラソウ No.2

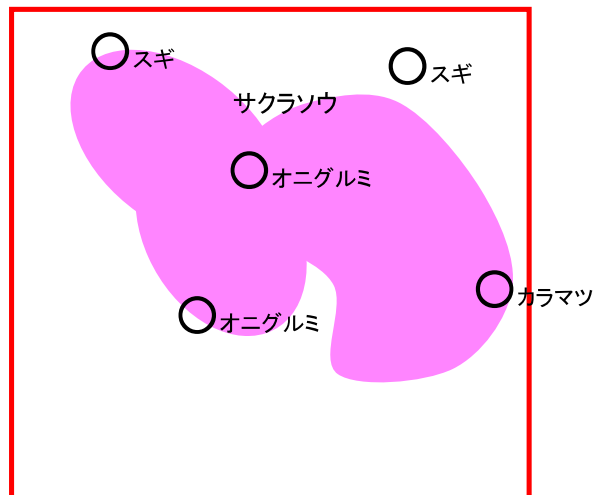
サクラソウ分布調査

調査No.3	スギ、カラムツ、オニグルミ GPS252
調査日	2022/5/28
調査者	井浦、桜井、松田

調査方法

- 調査区は植生調査No.2内
- 2016年は全体の植生調査を7/19実施。
- 分布概略図作成

<調査区の位置> ↑ N
 大きさ：10m×10m



調査結果・考察

	16.5.21	17.5.21	18.5.19	19.5.18	20.5.18	21.5.15	22.5.28
サクラソウ開花株数	58	35	74	72	95	84	108
サクラソウの割合(%)		5	8	7	10	10	10

- 高木層 40% 低木なし
- 草本層
 トリカブト、ウバユリ、イタドリ、オククルマムグラ、ヒカゲスミレ、タニギキョウ
- ・21年はサクラソウの自生地も含め、スギの落枝の除去や草刈りを比較的しっかり行った。



サクラソウ No.3

(2) 春植物調査

アズマイチゲやキクザキイチゲなど春植物の開花数を、毎年同じ調査区で調査しています。

春植物分布調査

調査No.1 雑木林						
調査日 2022/4/27						
調査者 井田・松田・井浦						
調査方法 - 調査区(10m×10m)の設置 - 春植物の種類と株数をカウント						
水路 舗装道路 ↑ N 水路から約50m 道沿い 写真⑤ 写真② 写真④ 写真① 撮影順 東屋						
調査結果・考察						
	16.4.13	17.4.17	18.4.11	19.4.19	21.4.22	22.4.27
アズマイチゲ開花数	25	63	128	84	87	81
キクザキイチゲ開花数	8	14	10	29	57	68
サイハイランの葉	37	47	42	43	54	57
2017年は昨年と比較して大幅に増加 2018年、アズマイチゲは2倍増。キクザキイチゲ、サイハイランはやや減少(雨天で見逃しの可能性もあり) 2019年、キクザキイチゲの開花数増。アズマイチゲは霜などの影響の可能性あり。 2021年、キクザキイチゲの開花数がさらに増加。サイハイランもこれまでで最も多い。 2022年、昨年刈り払い機で下草を刈る。キクザキイチゲの開花数が増えている。アズマイチゲ・キクザキイチゲは花の終わり。実になっているものもあり、開花の実数を数えられていない可能性あり。						



春植物 No.1 写真3

春植物分布調査

調査No.2 スギ植林

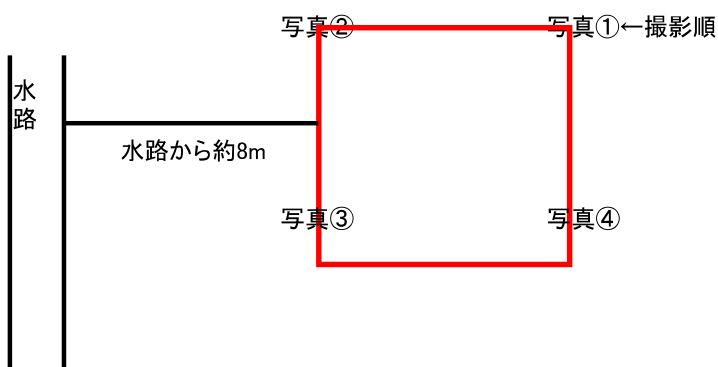
調査日 2022/4/27

調査者 井田・井浦・松田

調査方法

- ・ 調査区(10m×10m)の設置
- ・ 春植物の種類と株数をカウント

＜調査区の位置＞ →N



調査結果・考察

	16.4.13	17.4.17	18.4.11	19.4.19	21.4.22	22.4.27
アズマイチゲ開花数	2	3	6	5	3	1
キクザキイチゲ	株はあるが、花なし	同左		1	0	0
ニリンソウ	なし	同左	開花時期ではない	なし	なし	なし

※サクラソウは林縁にあるため、コドラードには含めなかった。

今後の樹林の下層の手入れによって、春植物の増加が予想される。

2019年キクザキイチゲ開花。

2021年アズマイチゲは開花数減少、キクザキイチゲも開花なし。スギの樹冠、およびスギの落葉で光量が不足していると思われる。落ち葉かきをすれば効果があるのではないかな。

2022年余り変化無し。アズマイチゲの葉はたくさんあり、スギを間伐して明るくなれば開花するのでは。



春植物 No.2 写真 2

(3) 哺乳類調査（センサーカメラ）

エリア北端（北設置カメラ）と南端（南設置カメラ）の林内に赤外線センサーカメラを設置し哺乳類の調査を行いました。

① カメラの設置期間

- ・北設置カメラ（計265日）

2022年4月27日～2023年1月16日

- ・南設置カメラ（計103日）

2022年4月27日～5月29日（33日）

7月1日～7月29日（29日）

10月7日～11月16日（41日）

（設置期間は265日だが、電池切れ又はSDカード不具合のためデータの無い期間がある）

② 出現種及び出現頻度

- ・北設置カメラ

種 名	出現日数	頻度（出現日数÷総日数）
ホンドギツネ	46日	17.4%
ホンドタヌキ	52日	19.6%
ツキノワグマ	17日	6.4%
イノシシ	4日	1.5%
ハクビシン	3日	1.1%
ニホンアナグマ	1日	0.4%

- ・南設置カメラ

種 名	出現日数	頻度（出現日数÷総日数）
ホンドギツネ	20日	19.4%
ホンドタヌキ	13日	12.6%
ハクビシン	4日	3.9%
ニホンイタチ	1日	1.0%

③ 概要

- ・記録種数は7種（前年6種）で、北設置カメラで前年記録がなかったハクビシンが3日間確認されました。
- ・前年に比較し、ギツネ及びタヌキの出現頻度が大幅に増加しました。
- ・北設置カメラでツキノワグマが8月5日から9月10日の間で17日間にわたり出現しました。5日間連続して出現した期間もあり、敷地内に留まり続けた可能性があります。

10月14日の「社員有志と整備」において、「ブドウ畑のブドウを2日連続で食べに来た。電柵を張ったので、3日目は駐車場の方にも来た。目撃情報は役場の方へも連絡している」旨の報告がありました。



ホンドギツネ



ホンドタヌキ



ツキノワグマ



イノシシ

4. サンクゼールの森アンケート結果

信濃町サンクゼールの森アンケート 2022

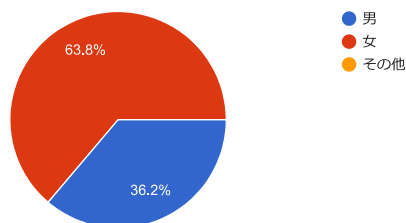
本年度から信濃町オフィスの社有地内の森『サンクゼールの森』の将来に向けた計画づくりや整備が進んでいます。今の段階で、みなさまの森に対する意識を知ることがこのアンケートの目的です。

少しお時間をいただきますが、ご協力いただければ幸いです。

なお、答えることが難しい質問はスキップしていただいてもだいじょうぶです。
また、こちらで個人を特定することはできないシステムとなっております。

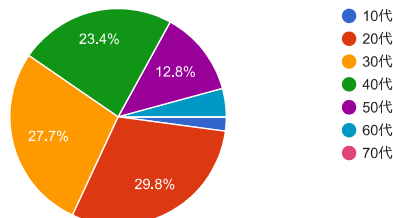
【1】あなたの性別を教えてください

47 件の回答



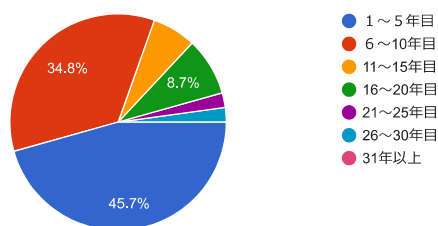
【2】あなたの年代を教えてください

47 件の回答



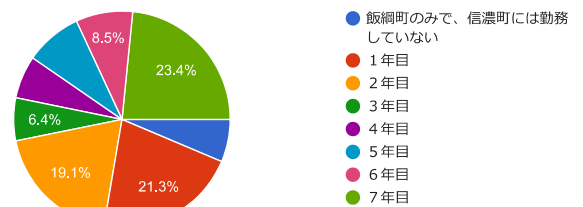
【3】サンクゼールの勤務年数を教えてください

46 件の回答



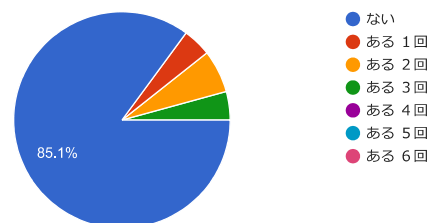
【4】信濃町オフィス（2015年開設）における勤務年数を教えてください

47 件の回答



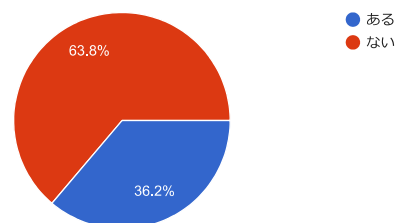
【5】これまで信州大学がおこなった観察会（年に1回）に参加したことがありますか？ある場合は何回参加していますか？

47 件の回答



【6】2021年（昨年）からはじまった、社員有志のみなさんによる森の整備（池の掃除、草刈り）に参加したことがありますか？

47 件の回答



【6の続き】観察会や整備に参加した方は、そのあとご自分のサンクゼールの森に対する印象に、どのような変化がありましたか？

13 件の回答

ただ、雑草が生えているのではないことに驚き、希少植物があることを知り、大切に守っていかないとけないと思うようになりました。

貴重な植物と動物がいることを知りました。なかなか整備等をして実際に自然と触れてみないとわからないことが多かったので、非常に森のイメージが変わりました。

資源としては魅力的。程よく整備が進んで（遊歩道やあずまや、ベンチなど）、従業員や近隣にお住まいの方も気軽に利用できるような場所になれば、良いなと感じている。

会社として、地域として素晴らしい財産と思った一方で、皆様が手を入れ続けてくださっていることで初めて機能していることを知りました。

森は人の手の管理が必要なのだと知りました。

整備に参加させていただきました。今までは駐車場から社用玄関まで周りを見ることなく直行しておりましたが、周りを眺めながら出勤しており、奥はどうなっているのかと興味も持ちました。

想像より広大な敷地があることと、森の中にいるだけで心が安らぐような感覚があることを知ることが出来ました。

より愛着が持て、大切にしていきたいという想いが強くなった。

草刈りの際に信大の先生より、信濃町オフィス周辺の希少な生態系について教えて頂き、大切に守ってきたいという気持ちになりました。そういったお話を聴いて、お昼休みに散策に行くようにもなりました。

貴重な森と思えるようになりました。

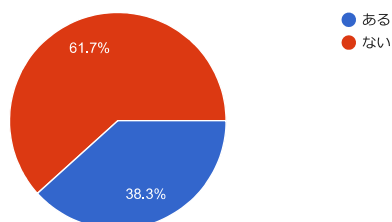
きれいな状態を維持したいと感じました。

自然の豊かさ、生命力の強さを感じました。もう少し整備すると、より身近な存在になるのではないかと思います

身近に感じるようになった

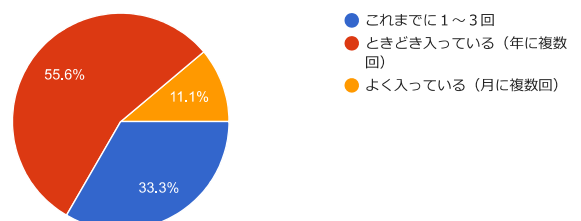
【7】観察会や整備以外で森を散策したことはありますか？

47 件の回答



【7の続き】「ある」と答えた方に伺います。どのくらい森に入りますか？

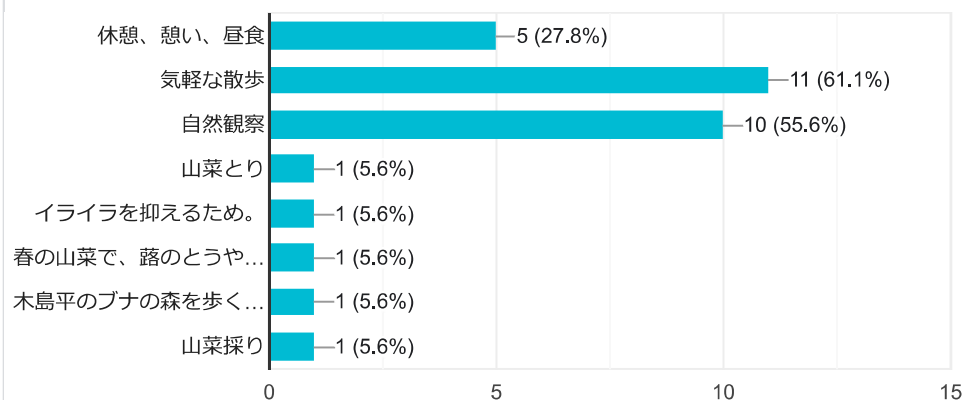
18 件の回答



【7の続き】どんな目的で入りましたか？



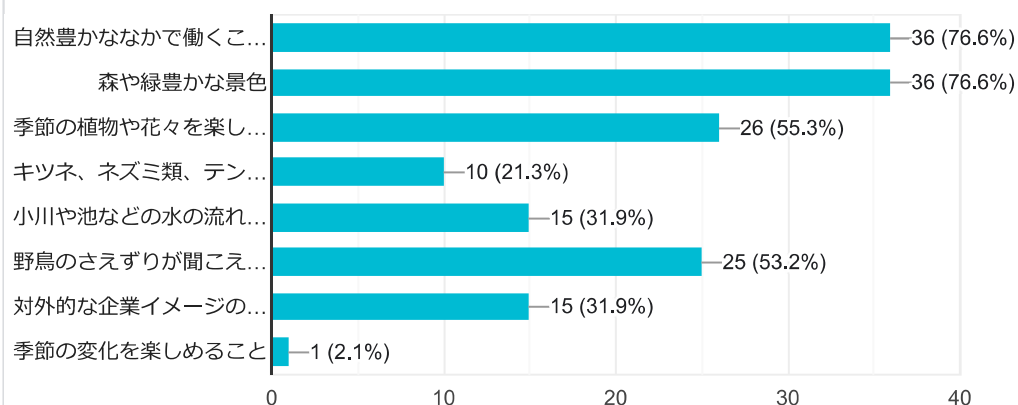
18件の回答



【8】現在、サンクゼールの森が社有地にあることで「いいな」と感じていることはどんなことですか？（複数回答可）



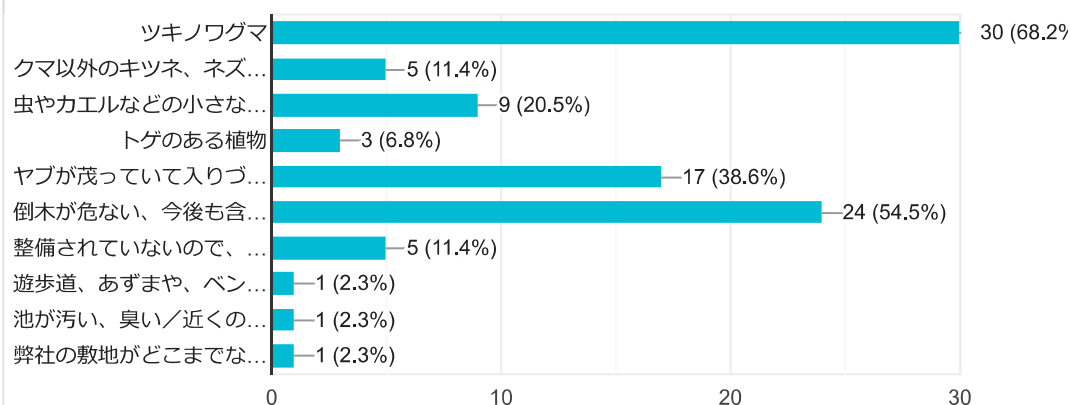
47件の回答



【9】現在、サンクゼールの森に対して、「不安なこと」「嫌なこと」「困ると感じていること」はどんなことですか？（複数回答可）



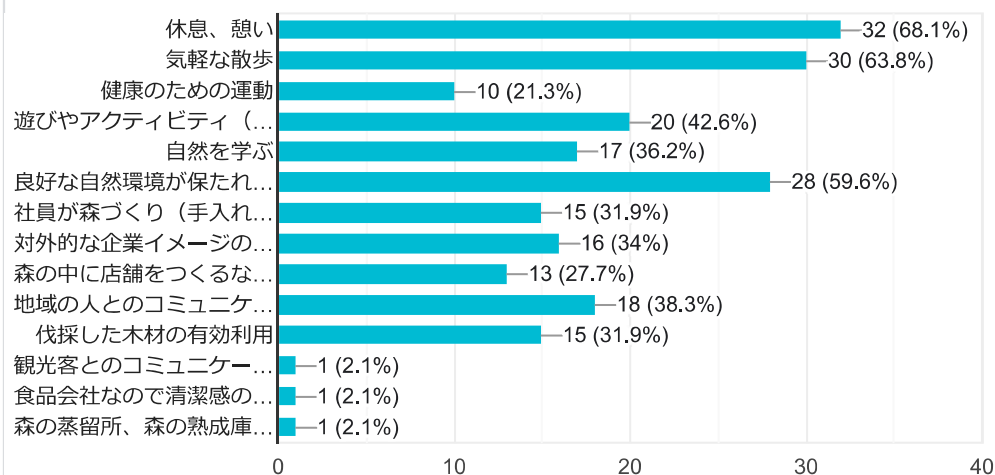
44件の回答



【10】 今後、サンクゼール森の整備を進めるにあたってどんなことを期待していますか？（複数回答可）



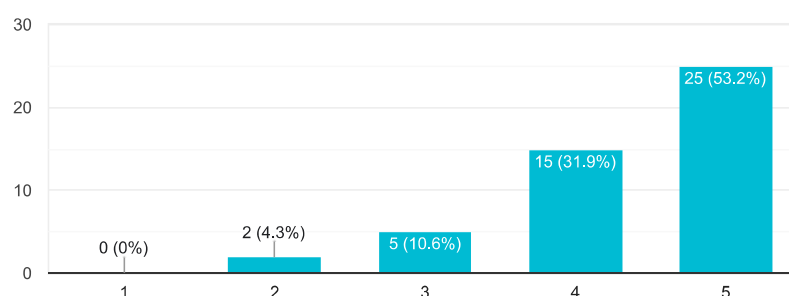
47 件の回答



【11】 サンクゼールの森は「会社にとって」どのくらい価値があると思いますか？現時点のお気持ちを、下記の5段階で示してください。



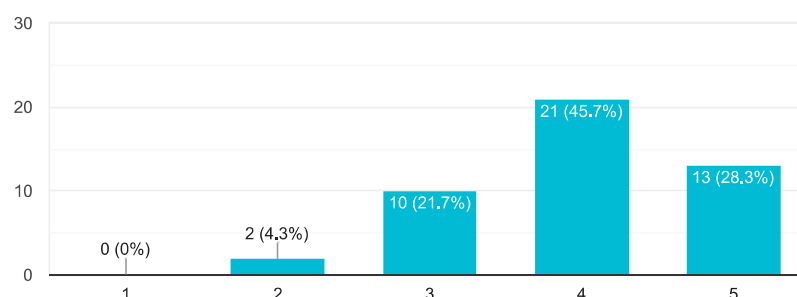
47 件の回答



【12】 サンクゼールの森は「ご自身にとって」どのくらい価値があると思いますか？現時点でのお気持ちを、下記の5段階で示してください



46 件の回答



【13】そのほか、サンクゼールの森についてご意見やご要望、疑問など、ご自由にお寄せください

12 件の回答

人が不便だからと整備を進めてしまってアカハライモリなどの貴重な生き物がいるこの信濃町の自然が崩れてしまうのは惜しいなと思う、うまい落としどころをみつけて共存していきたい

今後の活動次第で、会社にとって大きな価値をあたえる存在になると思う。

森を守るには、伐採も必要ですし、常に手入れ等で手が掛かり、綺麗を保つために、社員が管理していくとなると、困難なところもあると思いますが、どのように管理・維持していくのでしょうか？

森の手入れは草刈り含め大変な作業がありますが、自然が身近に感じる施設は中々ないので、素晴らしい環境で勤務できることは素晴らしいことだと思います。

手つかずの場所、も大切かと思いますが、最低限の整備は必要だと思います。東屋や広場を作り憩いの場所が増えると思います。

森の保全の活動には関心があり、地球守さんなどの活動をチェックしています。あるべき姿に戻すことで森や自然が保たれ、ひいては私たちの暮らしも守られる。そういう循環づくりにかかわることが出来たら、と思っています。

いつも信濃町事務所に行くとホッとする感覚に癒され、良い環境で仕事ができる点はとても有意義だと思います。今後店舗や何らかのコミュニケーションがとれる場ができるとすると、その開発によって共存できるのか、むしろ共存する仕方を整備するための対策を考えていくことが大切なのかなと感じました。

森の保全活動に参加したい気持ちが凄くありますが、どうしても業務に追われて時間が取りづらいのが現状です。

日々皆さんも多忙な中ではありますが、心の癒しと社員同士のコミュニケーションという意味で、例えば夕礼の時間を使ってとかでも、春～秋は多くの方が定期的に保全活動に参加できる機会があれば良いと思います。

自然の景色はとても癒されますので、森が近くにあることが嬉しいです。お昼休憩などに気分転換によれるようになりましたら、更に嬉しいです。

森を壊してしまうことなく、動物とも共存できればいいなと思います。

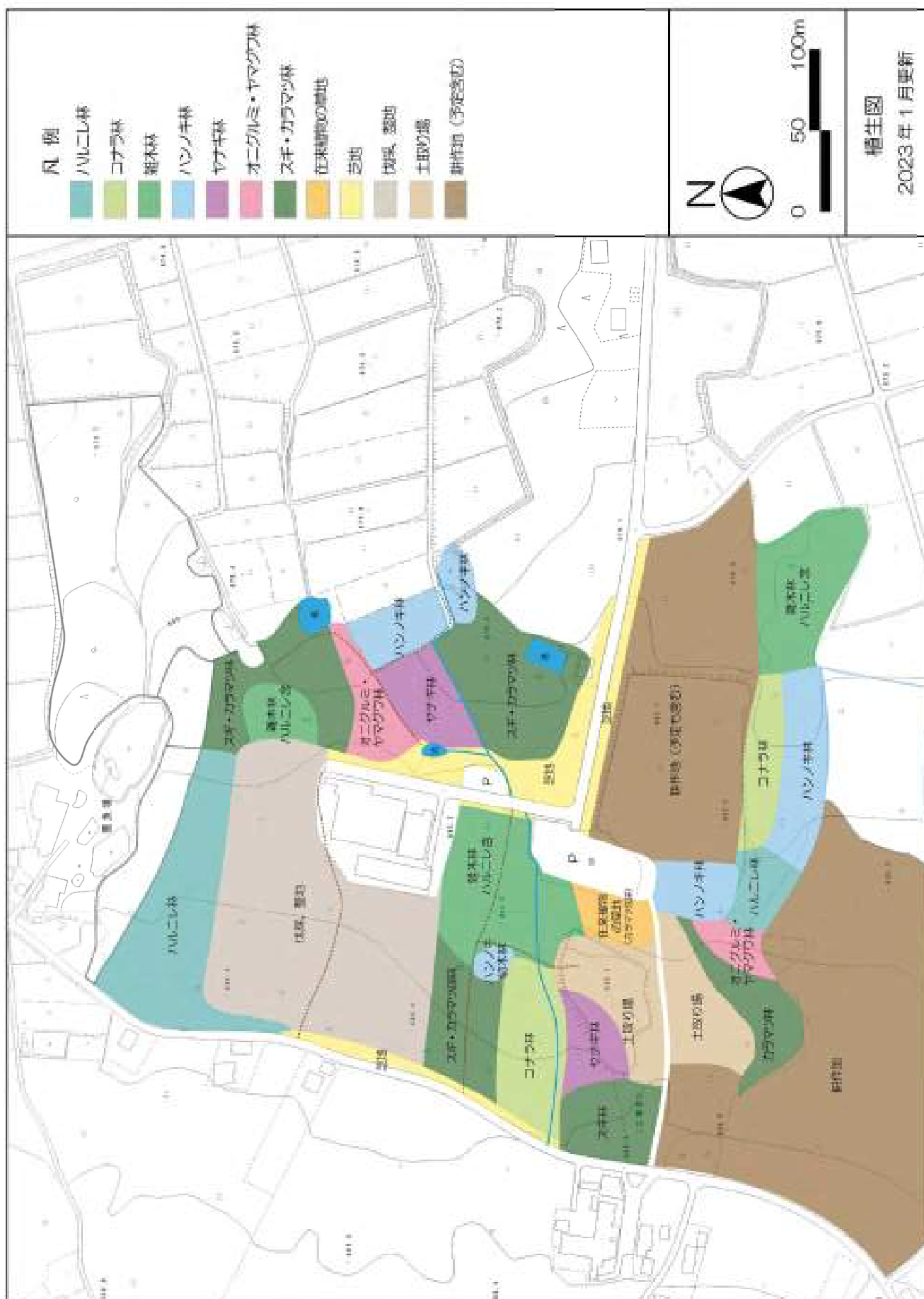
自然環境豊かな場所で働けることはとても心が安らぎます。

どこまではいいかわからない

ご協力いただき、どうもありがとうございました。

2022年8月 信州大学森林生態学研究室

5. 植生図 2023



6. 2022 年写真インデックス

写真をインデックスで表示します。サンクゼールより提供いただいた写真も一部記録として表示しています。ファイル名の「_St_」はサンクゼールより。

プロジェクトミーティング



整備



観察会



動植物



20220528_AS_P5280029



28_TA_コケイラン_サンクゼール



A_サクラソウ調査No.3_サンク



007_KA_ナガミツルケマンPA0



20221007_KA_ミヅリPA076145



427_KA_アケボノシスランP42



0220427_KA_ヒメニラP427067



20221007回収クマIMAG0080



20221228-MA-ホンデギツネ



0220701回収キツネIMAG0052

調査ほか



A_サクラソウ調査No.3_サンク



A_サクラソウ調査No.3_サンク



TA_サクラソウ調査No.3_サンク



KA_センサーカメラ南設置状況



KA_センサーカメラ北設置状況



0427_KA_ハンノキ低木P4270



07_KA_春植物調査No.1-1_P4



07_KA_春植物調査No.1-2_P4



07_KA_春植物調査No.1-3_P4



07_KA_春植物調査No.1-4_P4



07_KA_春植物調査No.2-1_P4



07_KA_春植物調査No.2-2_P4



07_KA_春植物調査No.2-3_P4



27_KA_春植物調査No.2-4_P



427_KA_駐車場横の伐採P42



A_サクラソウ調査No.2_サンク



TA_サクラソウ調査No.2_サンク



A_サクラソウ調査No.3_サンク



A_サクラソウ調査No.3_サンク



20221018_Si_DJI_0557



20221018_Si_DJI_0562



07_KA_社屋裏のオオバクサP4



20221007_KA_池周辺PA07615